


春よ来いコンサート開催


パワーアップして観客を魅了

2月20日（月）郷州公民館で「春よ来いコンサート」が開催されました。参加者数は何と145名で今まで開催されたイベントの数々の中で最大の参加者数になったと思われま
す。午前の部、午後の部の2回公演で集会室はぎっしりで大盛況でした。今回のコンサート
はヴァイオリン、チェロ、ピアノによる三重奏で次のようなプログラムで演奏が行われまし
た。



春よ来いコンサート ～プログラム～

1.楽興の時（シューベルト）	6.ラ・クンパルシータ（ロドリゲス）
2.弦楽セレナーデ（チャイコフスキー）	7.君の瞳に恋してる（クルー）
3.サウンド・オブ・ミュージック・メドレー（ロジャース）	8.スラブ舞曲 第2番（ドヴォルザーク）
4.星に願いを（ハーライン）	9.ハンガリー舞曲 第6番（ブラームス）
5.カントリー・ロード（デンバー）	



クラシック、アメリカの曲、舞曲などが演奏され、2曲ぐらいのあとは3人の演奏者の
絶妙なトークも入りその時は笑いにも包まれました。そして全9曲の演奏が終了すると、盛
大な拍手と「ブラボー、ブラボー」の大声援が沸き起こりアンコール曲「涙そうそう」が演
奏されて約1時間のコンサートが終了しました。



80名近い観客に応じて演奏にも熱が入るトリオ



曲紹介では絶妙なトークで会場に笑いが

今回のコンサートは昨年5月の「風薫るコンサート」と同じメンバーにお願いしましたが、その時よりもだいぶパワーアップしたように感じました。これは季節と曲目の違いが影響しているようですが、参加者数がかなり多かったことが演奏者の心に響き演奏者の気迫に繋がったような気がしてなりません。演奏者が奏でる音色やハーモニーは時には観客が創り出すこともあるような気がしました。



各回 80 名近い観客の大きな拍手や「ブラボー」との大歓声に
アンコール曲「涙そうそう」の演奏で幕を閉じました

コンサート終了後、参加者の皆さまは「とても良かった」「最高だ、素晴らしかった」「やはり生演奏はいいですね」と異口同音に話されていました。これ以外にもこんな声も拾えました。

「次回も、このメンバーでコンサートをやって欲しい」

「たまたま昨日アマチュアのコンサートを聴きに行ったが、今日の演奏は質が全然違う」

「ヴァイオリンの音の響きが凄くて胸にず〜んといつまでも残った」

「チェロの方のトークを聞いていて自分もその国にいたので涙が出た」

「あんな風にピアノを弾けたらなああと羨ましかった」

・・・など、皆さん感動していました。

皆さんが笑顔で帰っていく姿を見て、十分に楽しめて心も癒されて元気になったように感じました。また来年もこんな素晴らしいコンサートを開催して皆さまに楽しんでいただきたいと思います。

(みずき会 山岸)